

平成28年2月26日に新潟県村上市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

2月26日19時頃、村上市岩ヶ崎（いわがさき）で突風が発生し、屋根瓦のめくれや落下などの被害が発生しました。

このため2月27日、新潟地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定には至らなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害範囲が狭く、被害や痕跡の分布からは竜巻やダウンバースト等と推定できる根拠が得られなかった。
- ・現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・住家の屋根瓦のめくれや落下が複数あった。

※ この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。